

WSA と GoToMeeting の接続に関する問題

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

このドキュメントでは、Citrix GoToMeeting が Cisco Web セキュリティ アプライアンス (WSA) 経由で接続しない問題について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco WSA
- Citrix GoToMeeting

注: このドキュメントでは、Cisco WSA がトランスパレント モードで導入されていることを前提とします。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアとソフトウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco WSA バージョン 7.x および 8.x
- Citrix GoToMeeting バージョン 5 以降

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

注: このドキュメントでは、Cisco が管理およびサポートしていないソフトウェアを参照します。情報は、利便性のために無償で提供されています。さらにサポートが必要な場合は、ソフトウェアベンダーに連絡してください。

問題

Cisco WSA が透過型プロキシ導入で使用されている場合は、Citrix GoToMeeting が WSA 経由で接続しません。また、GoToMeeting が復号化ポリシーで HTTPS パススルー アクション用に設定されている場合は、その影響を受けません。

[Citrix ホワイトペーパー](#)に記載されているように、GoToMeeting は接続するために次のアクションを実行します。

GoToMeeting エンドポイント ソフトウェアは、起動時に、ポート 8200、443、または 80 上で 1 つ以上の発信 SSL 保護 TCP 接続を開始することによって、エンドポイント ゲートウェイ (EGW) 経由で GoToMeeting サービス ブローカーに接続しようとします。早い方の接続応答が使用され、その他の応答はドロップされます。

明確なプロキシ環境では、GoToMeeting が HTTP CONNECT 要求を使って接続し、WSA がクライアントとサーバ間でデータをトンネリングします。この種の接続では問題が発生しません。ただし、トランスペアレントモードでは、GoToMeeting クライアントが認証を実行できません。

解決策

この問題を効率的に解決するために、クライアントの IP アドレス ベース (サブネット) ID を使用して認証プロセスをバイパスすることをお勧めします。ただし、復号化が有効になっていても、認証が無効になっていると、GoToMeeting が機能することに注意してください。

ここでは、WSA で GoToMeeting トラフィックの認証プロセスをバイパスする方法について説明します。次の手順を実行して、新しいカスタム URL カテゴリのリストに GoToMeeting サーバの IP アドレスを追加します。

1. Web 管理 GUI から、[Web Security Services] > [Custom URL Category] に移動して [Add Custom Category] をクリックします。
2. サイト リストに以下の IP アドレス範囲を追加します。

216.115.208.0/20216.219.112.0/2066.151.158.0/2466.151.150.160/2766.151.115.128/2664.74.80.0/24202.173.24.0/2167.217.64.0/1978.108.112.0/2068.64.0.0/19206.183.100.0/22

注: これらの IP アドレスはいつでも変更することができます。 [Citrix IP アドレス リスト](#)で現在の IP アドレス範囲を確認することをお勧めします。

注意: このドキュメントで参照されている Citrix リンクはあくまで参考用です。それらの正確性や有効性を保証することはできません。